

5. 高齢者の社会参画

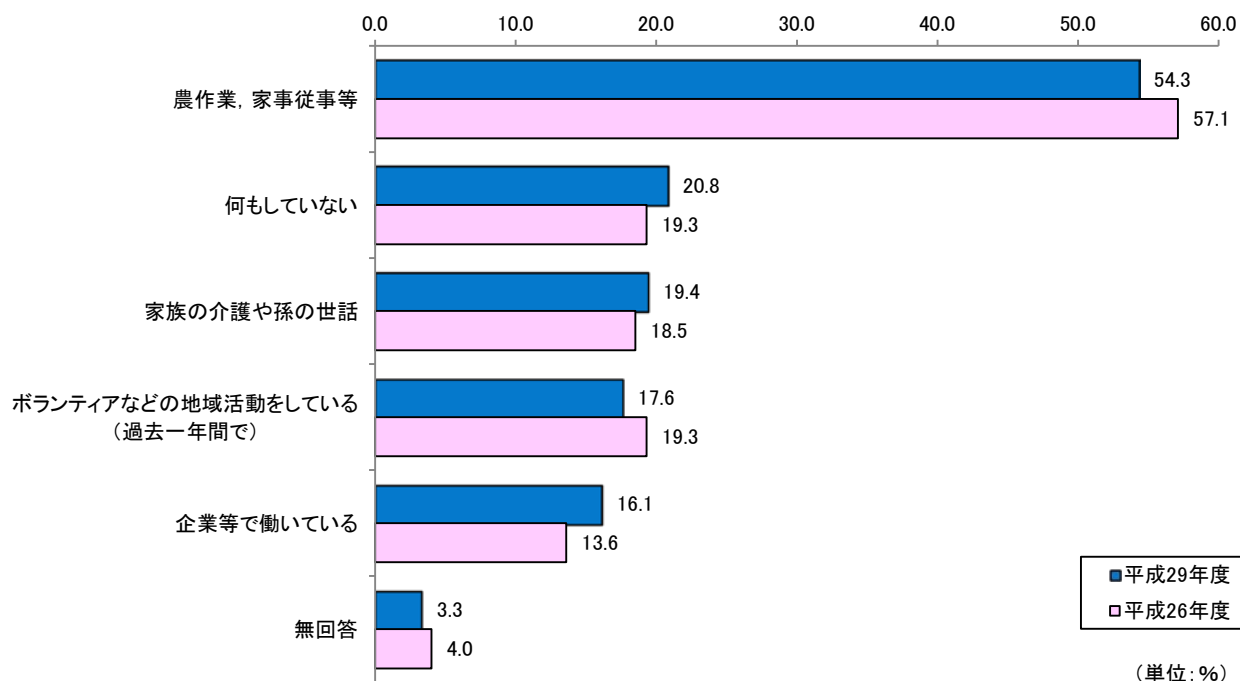
(1) 高齢期の過ごし方

問 14 65 歳以上の方にお伺いします。あなたは日ごろどのようなことをして過ごしていますか。あてはまるものをすべて選んでください。(M. A.)

就業率が 16%とやや増加する一方で「何もしていない」も微増

高齢期の過ごし方について、「農作業、家事従事等」が 54.3%と最も高い。次いで「何もしていない」(20.8%)、「家族の介護や孫の世話」(19.4%)が続き、「企業等で働いている」は 16.1%となっている。

前回調査と比較すると、「農作業、家事従事等」は 2.8 ポイント減少し、「企業等で働いている」は 2.5 ポイント増加している。



<属性による比較>

【生活圏別】

広島地方生活圏は「企業等で働いている」(17.8%)、備後地方生活圏は「家族の介護や孫の世話」(24.3%)が他の生活圏と比べて高く、備北地方生活圏は「ボランティアなどの地域活動をしている」(27.9%)、「農作業、家事従事等」(68.9%)が他の生活圏と比べて高くなっている。

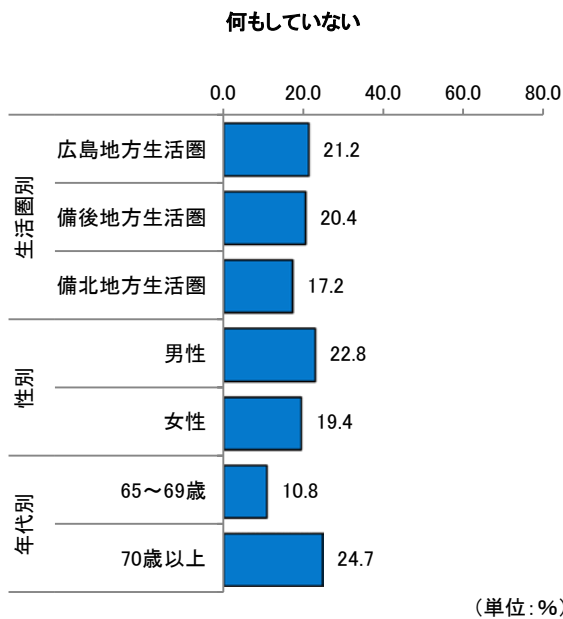
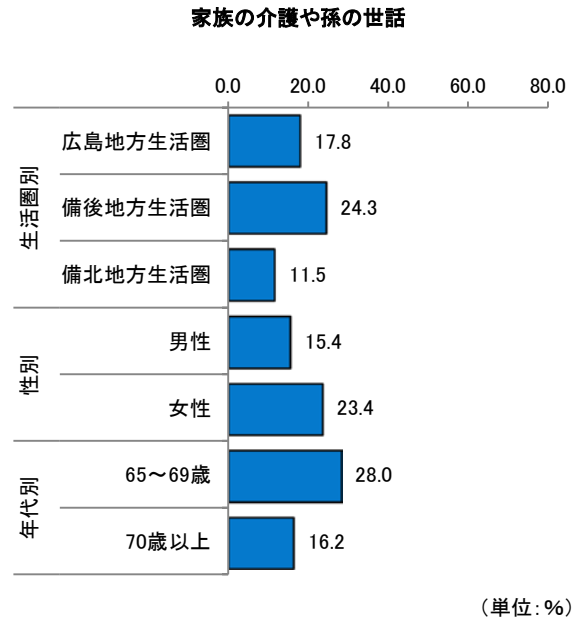
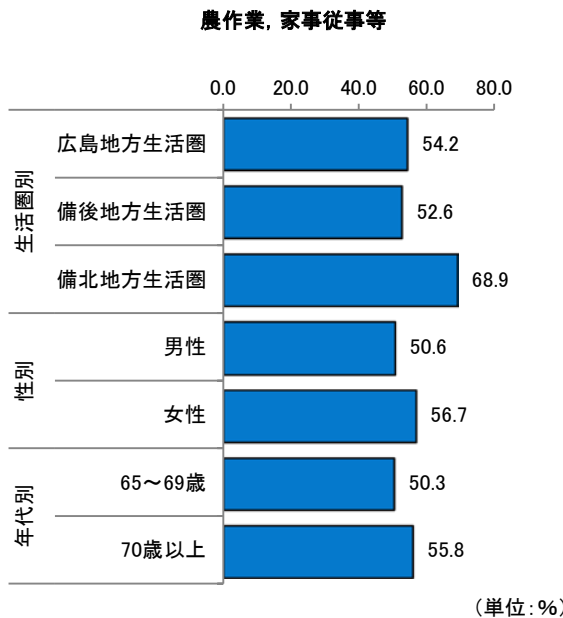
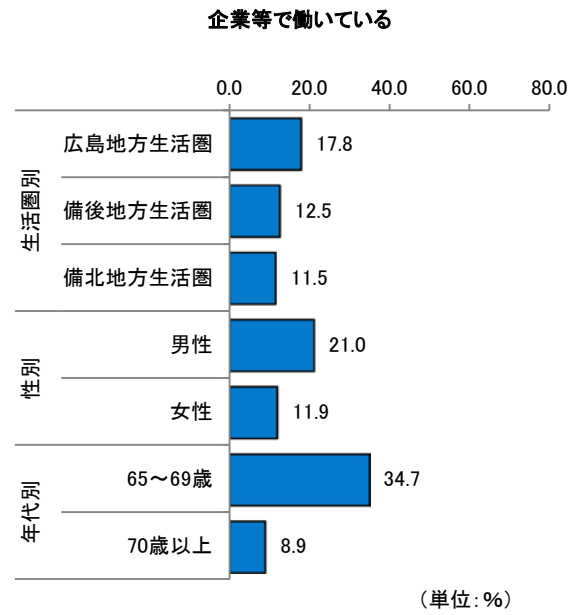
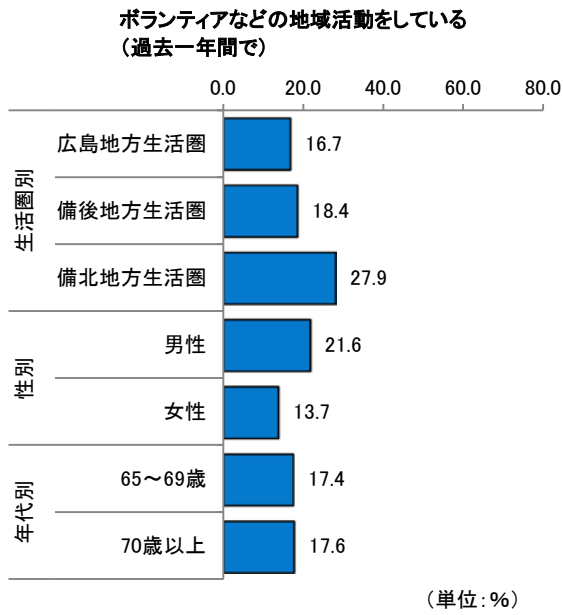
【性別】

男性の「企業等で働いている」は 21.0%と女性と比べて 9.1 ポイント高く、女性は「家族の介護や孫の世話」が男性と比べて 8.0 ポイント高い。

【年代別】

「企業等で働いている」は 65～69 歳で 34.7%と高く、70 歳以上では 8.9%と大幅に下がる。「ボランティアなどの地域活動」は年代差が少ない。「家族の介護や孫の世話」は 65～69 歳(28.0%)が 70 歳以上(16.2%)と比べて 11.8 ポイント高く、「何もしていない」は 70 歳以上(24.7%)が 65～69 歳(10.8%)と比べて 13.9 ポイント高い。

高齢期の過ごし方(生活圏, 性, 年代別)



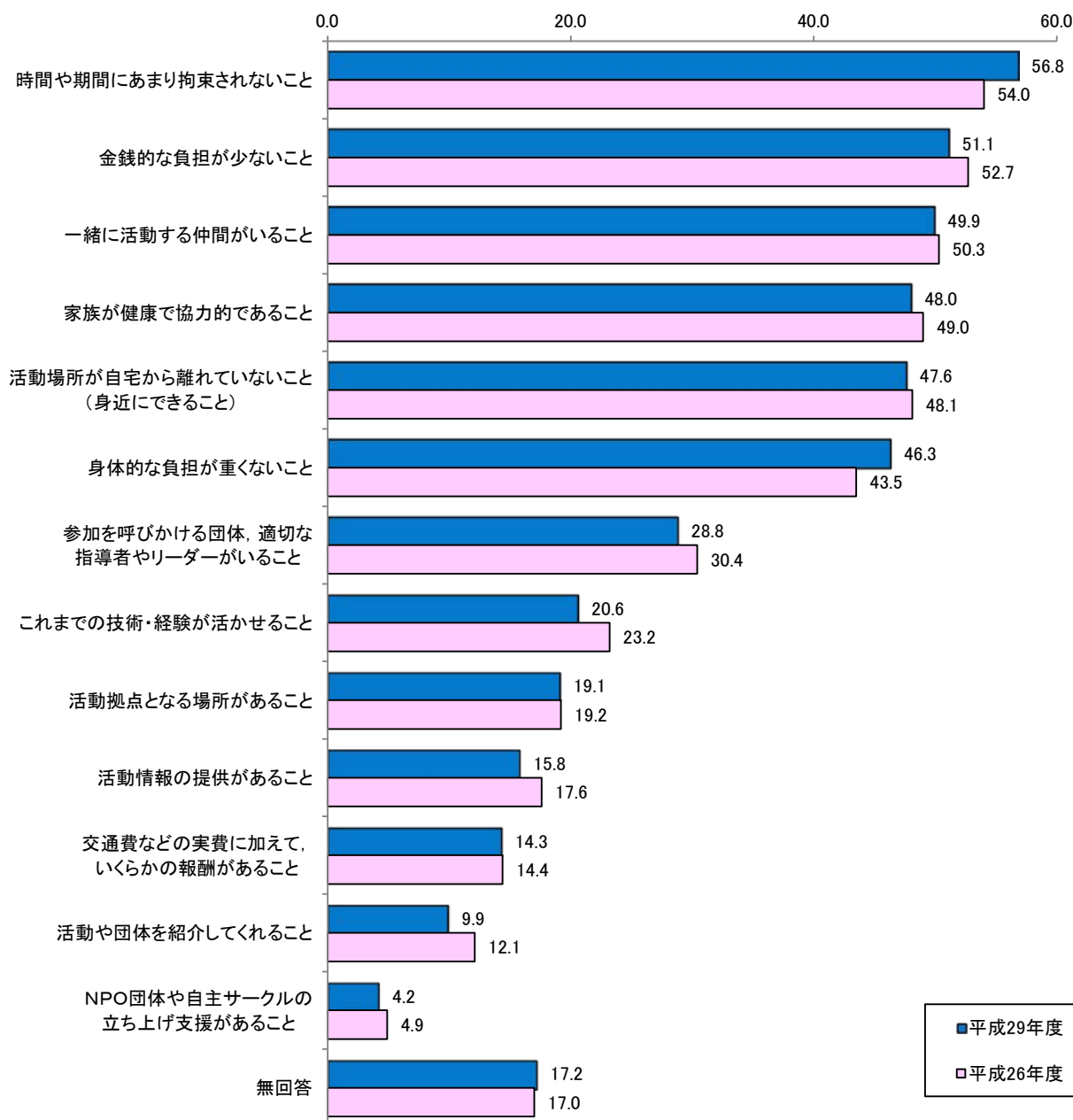
(2) ボランティア活動に参加する条件

問 15 あなたが地域・ボランティア活動に参加するとしたら、どのような条件があれば参加しやすいですか。あてはまるものをすべて選んでください。(M. A.)

**「時間や期間にあまり拘束されないこと」「金銭的な負担が少ないこと」「一緒に活動する仲間がいること」が上位。
時間的、身体的負担の軽さを求める傾向が増加**

ボランティア活動に参加する条件として、「時間や期間にあまり拘束されないこと」が 56.8%と最も高い。次いで「金銭的な負担が少ないこと」(51.1%)、「一緒に活動する仲間がいること」(49.9%)となっている。

前回調査と比較すると、順位に変動はないが、「時間や期間にあまり拘束されないこと」、「身体的な負担が重くないこと」は前回より増加傾向にある一方、「これまでの技術・経験が活かせること」はやや減少しており、気軽に参加できることへの志向が強まっていることがうかがえる。



(単位: %)

＜属性による比較＞

【生活圏別】

備北地方生活圏は「これまでの技術・経験が活かせること」(26.4%)が他の生活圏と比べて5ポイント以上高い。

【性別】

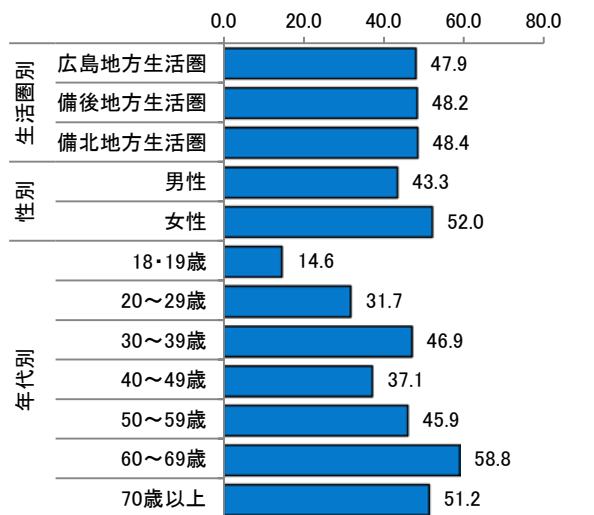
男性は「これまでの技術・経験が活かせること」(23.0%)が女性と比べて 4.7 ポイント高い。女性は男性と比べて「活動場所が自宅から離れていないこと」(54.1%)が 14.8 ポイント,「家族が健康で協力的であること」(52.0%)が 8.7ポイント,「金銭的な負担が少ないこと」(54.1%)が 6.3ポイント,「一緒に活動する仲間がいること」(52.4%)が 5.3ポイント高い。

【年代別】

「家族が健康で協力的であること」,「活動場所が自宅から離れていないこと」,「身体的な負担が重くないこと」は 60 歳代以上が半数を超え高くなっている。「一緒に活動する仲間がいること」は 20 歳代と 60 歳代が半数を超え高くなっている。

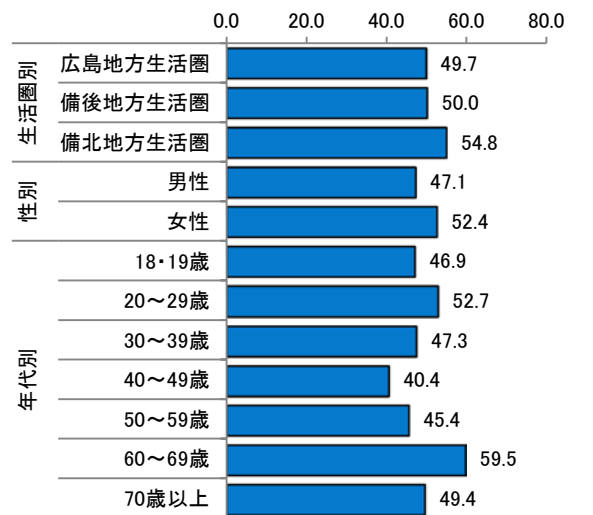
ボランティア活動に参加する条件(生活圏, 性, 年代別)

家族が健康で協力的であること



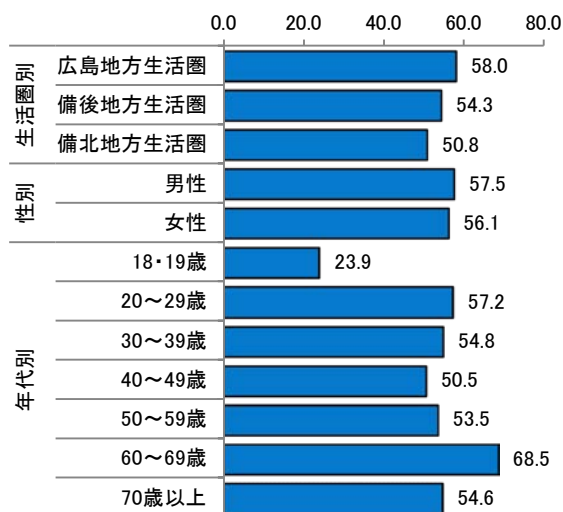
(単位: %)

一緒に活動する仲間がいること



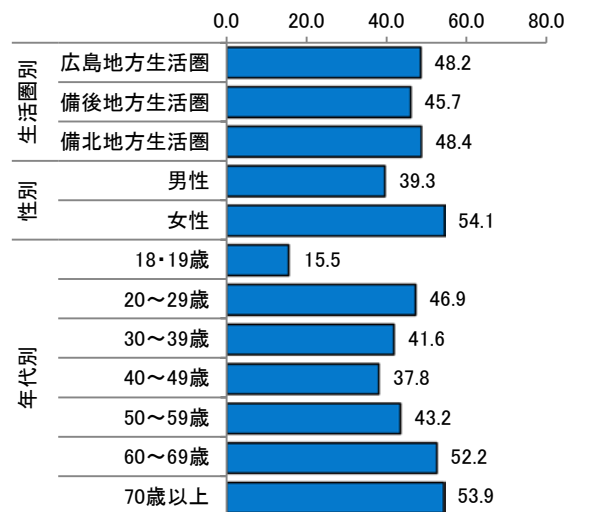
(単位: %)

時間や期間にあまり拘束されないこと



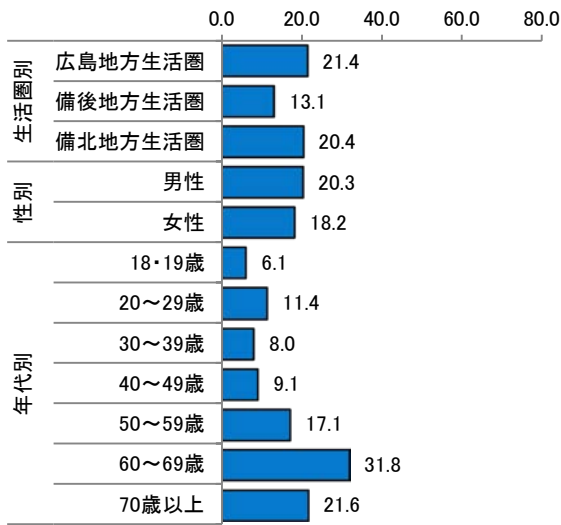
(単位: %)

活動場所が自宅から離れていないこと



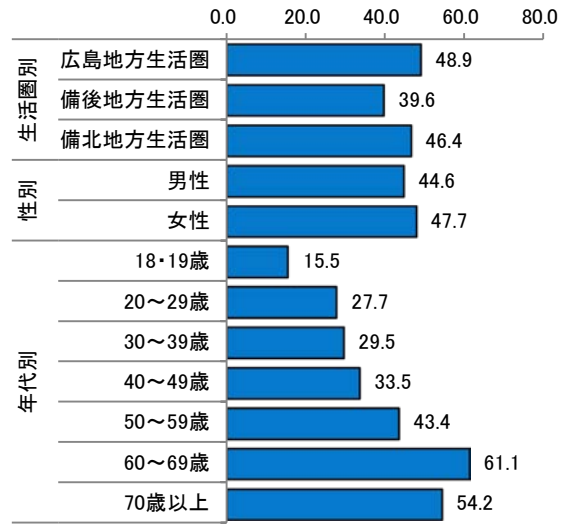
(単位: %)

活動拠点となる場所があること



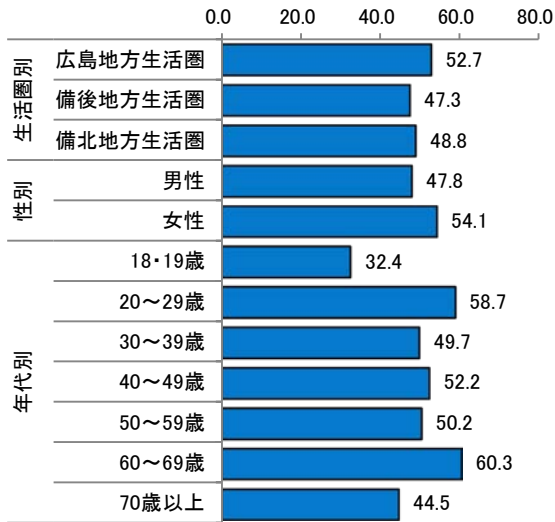
(単位: %)

身体的な負担が重くないこと



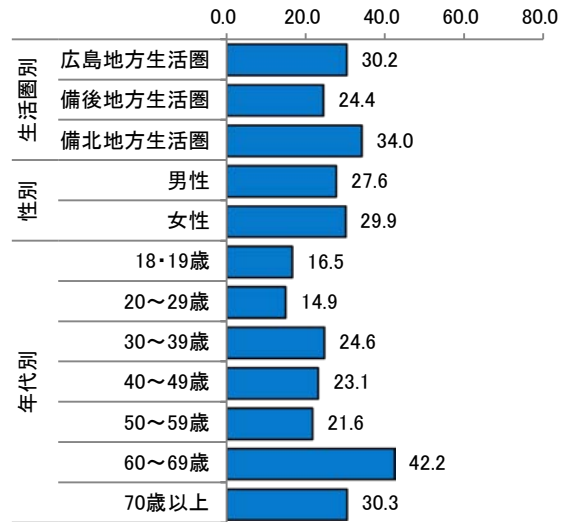
(単位: %)

金銭的な負担が少ないこと



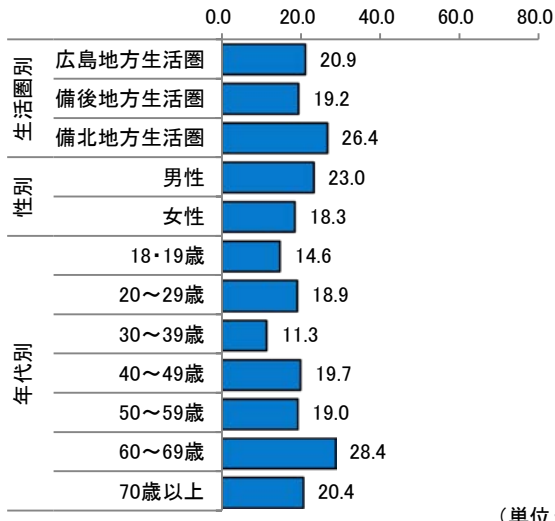
(単位: %)

参加を呼びかける団体、適切な指導者やリーダーがいること



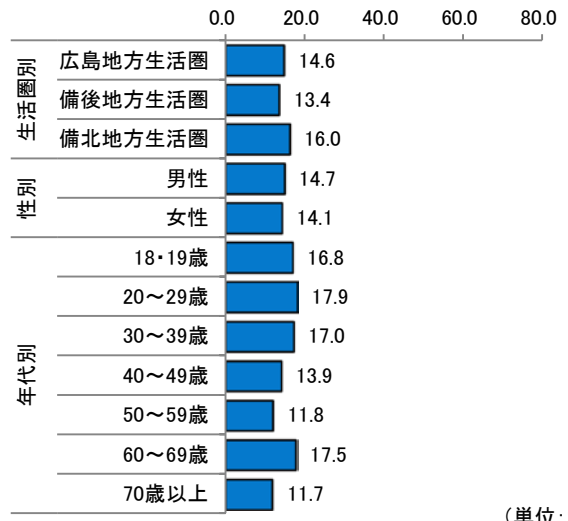
(単位: %)

これまでの技術・経験が活かせること



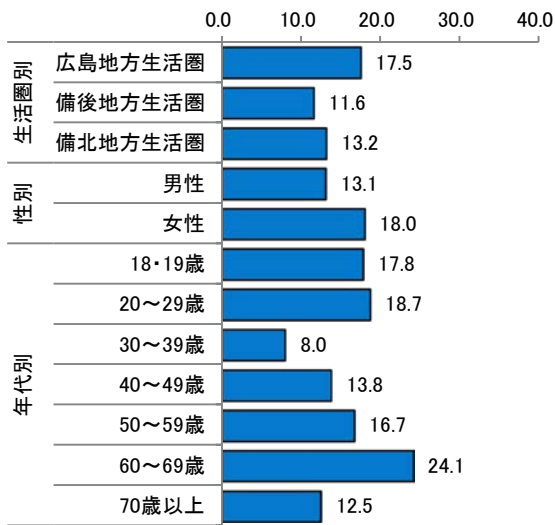
(単位: %)

交通費などの実費に加えて、いくらかの報酬があること



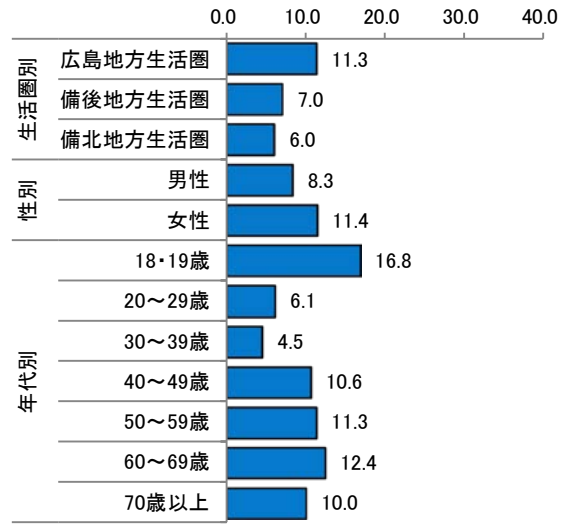
(単位: %)

活動情報の提供があること



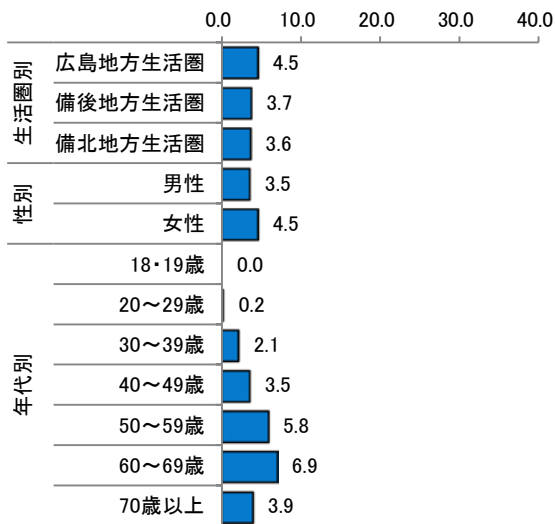
(単位: %)

活動や団体を紹介してくれること



(単位: %)

NPO団体や自主サークルの
立ち上げ支援があること



(単位: %)

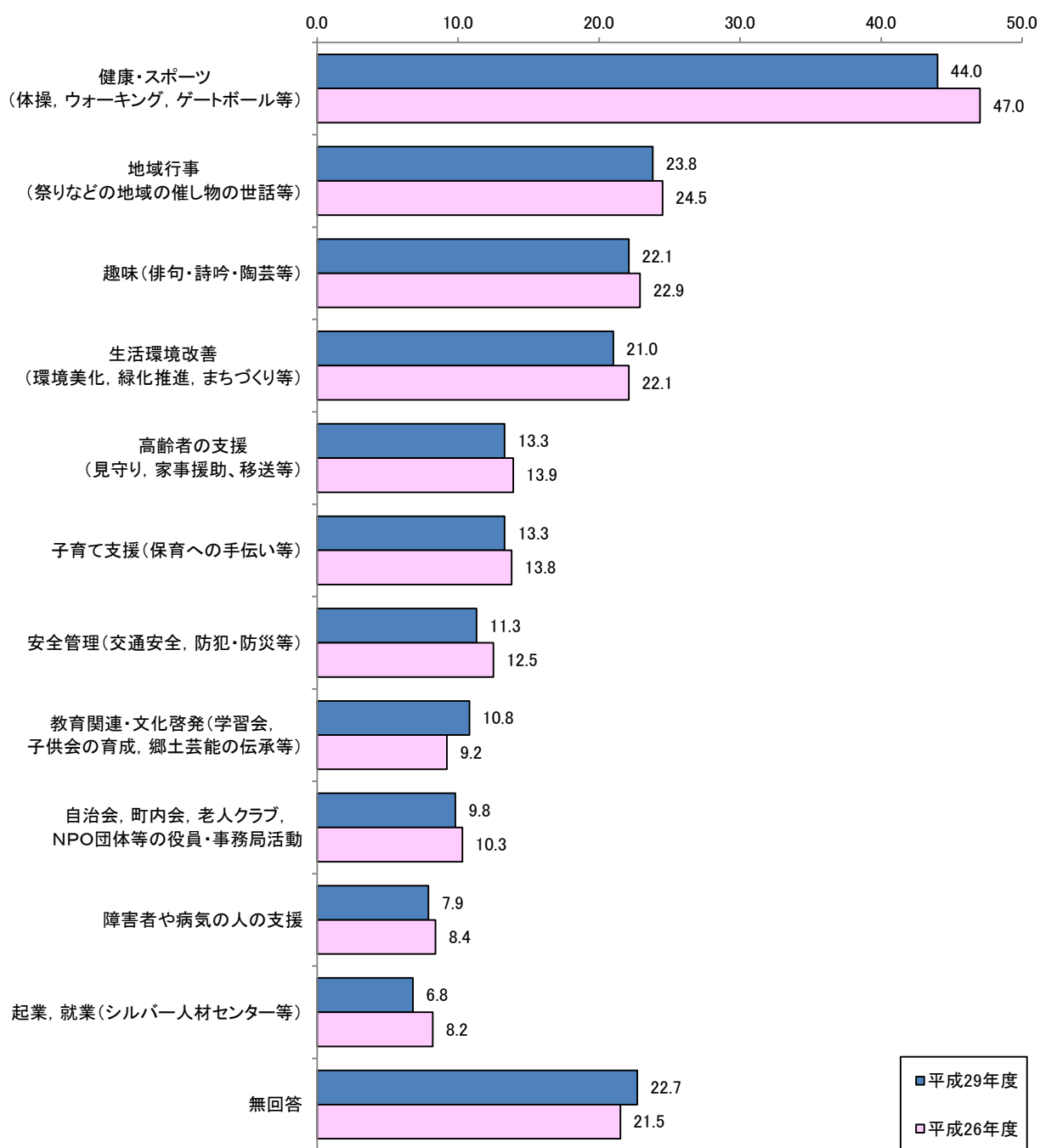
(3) 参加したい活動

問 16 あなたは、どのような活動に参加したいと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。
(M. A.)

参加したい活動は「健康・スポーツ」「地域行事」「趣味」が上位。
備北地方生活圏では地域活動への参加意識が高い。

参加したい活動について、「健康・スポーツ」が44.0%と最も高い。次いで「地域行事」(23.8%)、「趣味」(22.1%)となっている。

前回調査と比較すると、順位に大きな変動はない。



(単位: %)

＜属性による比較＞

【生活圏別】

広島地方生活圏は「趣味」(23.6%)が他の生活圏と比べて高く、備北地方生活圏は「地域行事」(32.0%)、「自治会、町内会、老人クラブ、NPO団体等の役員・事務局活動」(15.6%)が他の生活圏と比べて高い。

【性別】

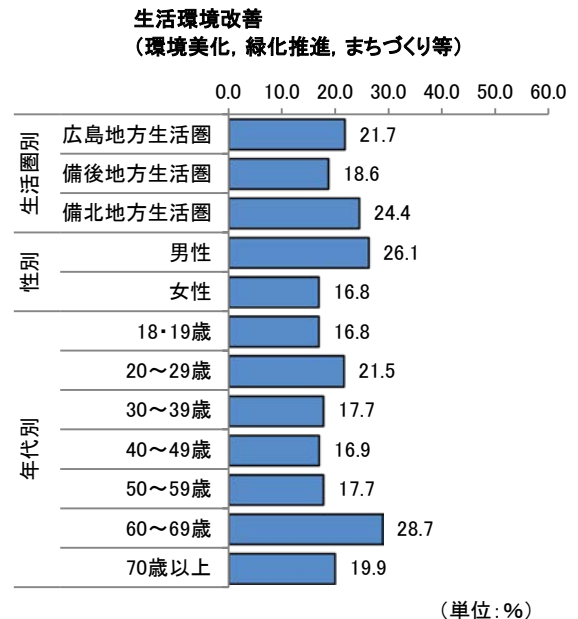
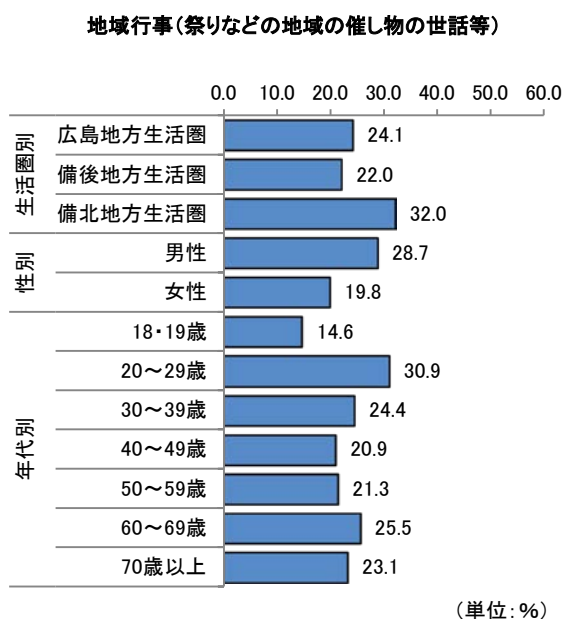
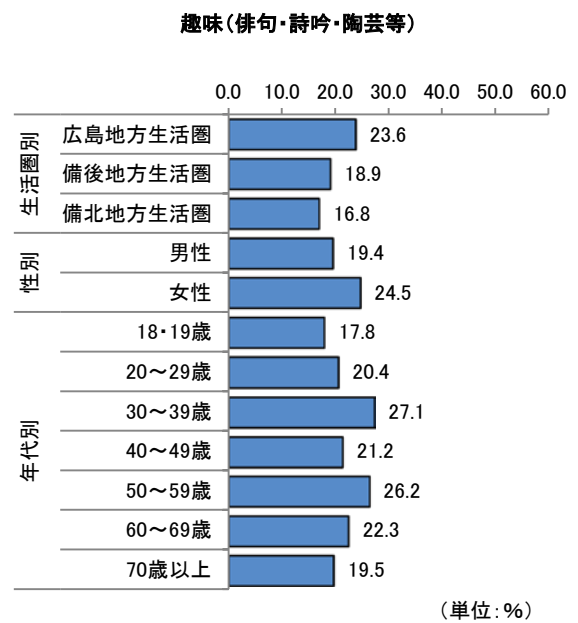
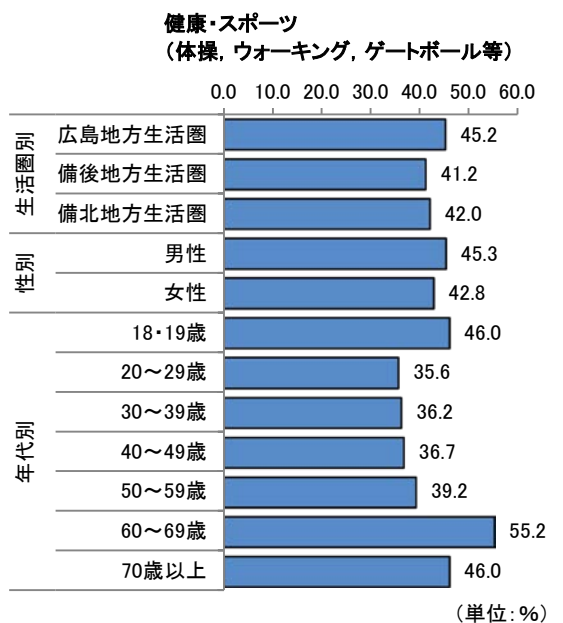
男性は「地域行事」(28.7%)、「生活環境改善」(26.1%)、「安全管理」(16.8%)が女性と比べて高い。

女性は「趣味」(24.5%)、「子育て支援」(18.7%)が男性と比べて高い。

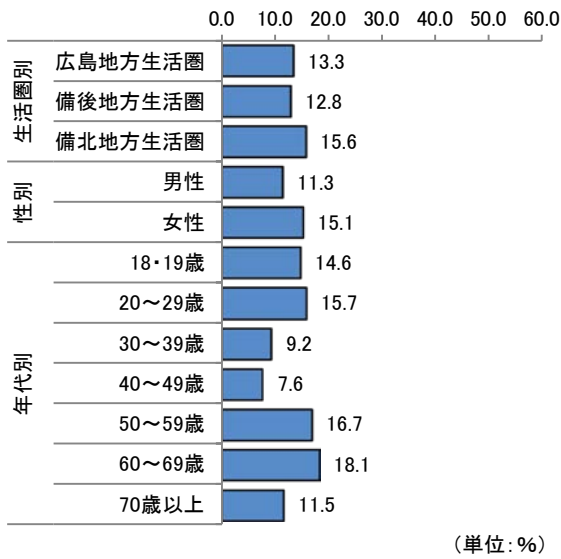
【年代別】

20歳代は「地域行事」(30.9%)、30歳代は「教育関連・文化啓発」(17.3%)、60歳代は「健康、スポーツ」(55.2%)、「生活環境改善」(28.7%)が他の年代と比べて高い。「子育て支援」については20～30歳代、「自治会、町内会、老人クラブ、NPO団体等の役員・事務局活動」は60歳代以上が他の年代と比べて高い。

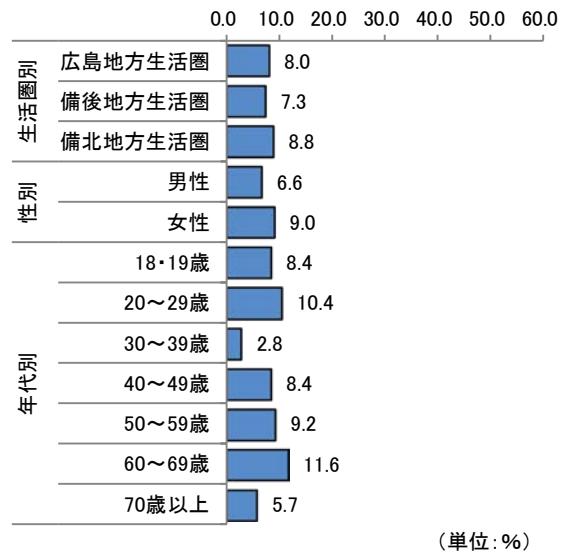
参加したい活動(生活圏, 性, 年代別)



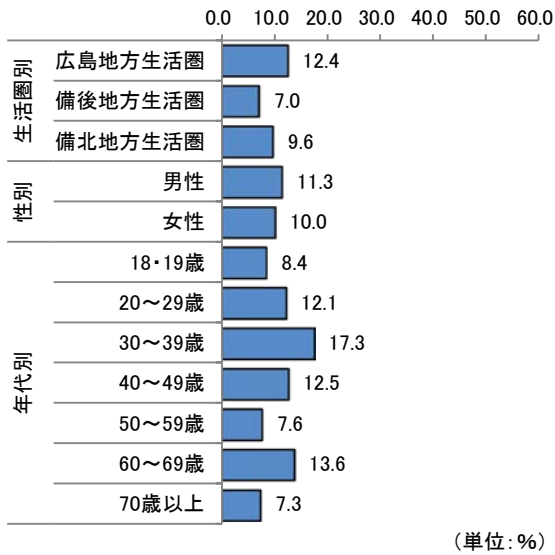
高齢者の支援(見守り, 家事援助, 移送等)



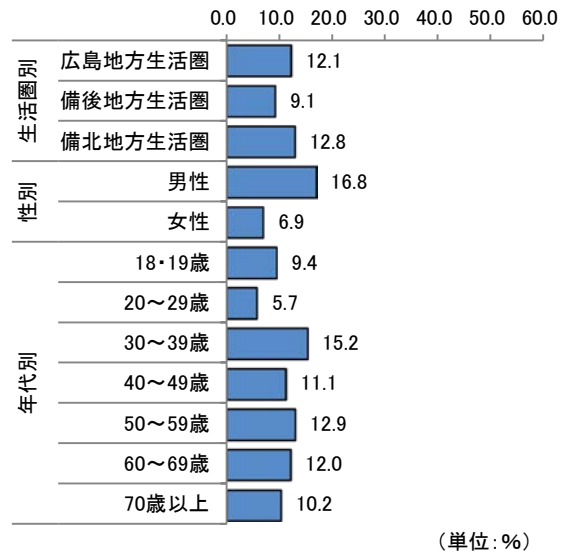
障害者や病気の人の支援



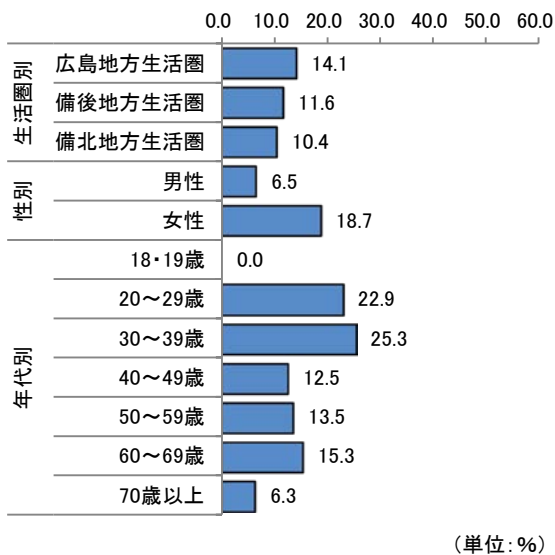
教育関連・文化啓発
(学習会, 子供会の育成, 郷土芸能の伝承等)



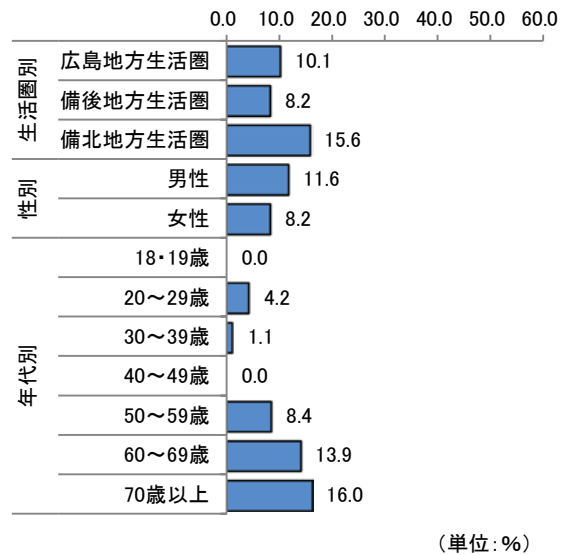
安全管理(交通安全, 防犯・防災等)



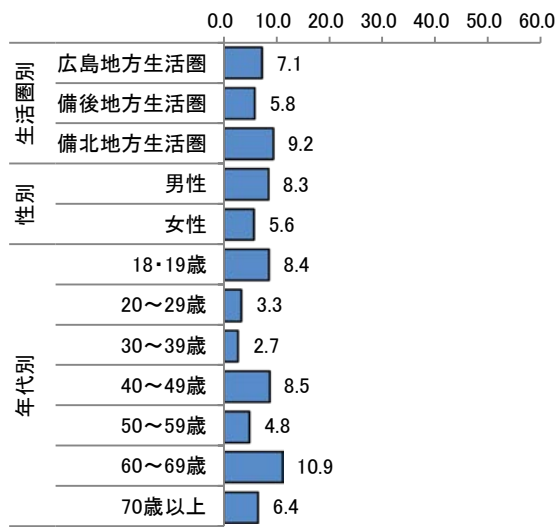
子育て支援(保育への手伝い等)



自治会, 町内会, 老人クラブ,
NPO団体等の役員・事務局活動



起業, 就業(シルバー人材センター等)



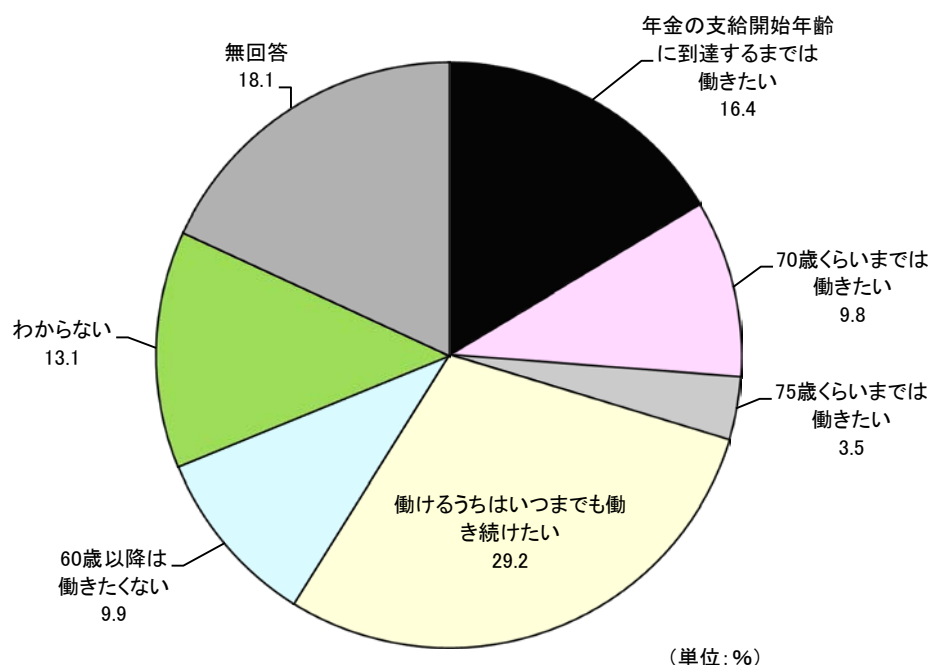
(単位:%)

(4) 60歳以降の就業意向

問 17 あなたは、60歳以降に収入を伴う仕事に就くことを希望しますか。希望する場合何歳まで働きたいと思いますか。現在仕事をしているかどうかにかかわらず、あてはまるものを1つだけ選んでください。

60歳以降も就業継続を希望する割合が6割弱

60歳以降の就業意向について、「働けるうちはいつまでも働きたい」が29.2%と約3割を占め、最も高い。次いで「年金の支給開始年齢に到達するまでは働きたい」(16.4%)、「60歳以降は働きたくない」(9.9%)となっている。「年金の支給開始年齢に達するまでは働きたい」～「働けるうちはいつまでも働きたい」を合わせた就業継続希望率は58.9%と6割弱を占める。



<属性による比較>

【生活圏別】

就業継続希望率は備北地方生活圏が64.4%と他の生活圏と比べて5ポイント以上高い。

【性別】

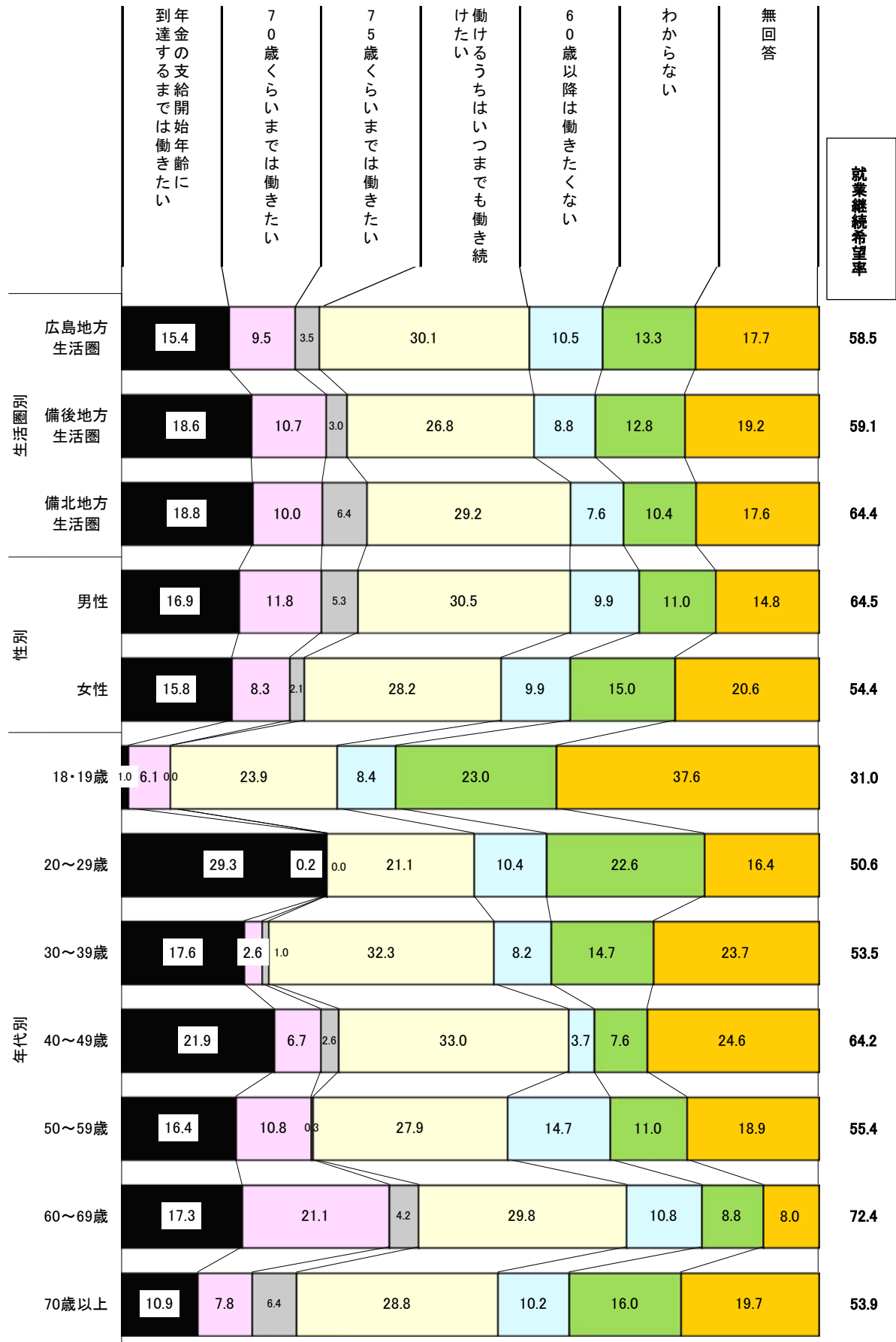
男性の就業継続希望率は64.5%と女性(54.4%)と比べて10.1ポイント高く、特に「働けるうちはいつまでも働きたい」(30.5%)が3割を占める。

【年代別】

20歳代は「年金の支給開始年齢に到達するまでは働きたい」(29.3%)、60歳代は「70歳くらいまでは働きたい」(21.1%)が他の年代と比べて高く、30～40歳代は「働けるうちはいつまでも働きたい」が3割を占め、他の年代と比べて高い。50歳代は「60歳以降は働きたくない」が14.7%と他の年代と比べて最も高い。

就業継続希望率は60歳代が72.4%と7割を占め最も高い。

60歳以降の就業意向(生活圏, 性, 年代別)



(単位: %)

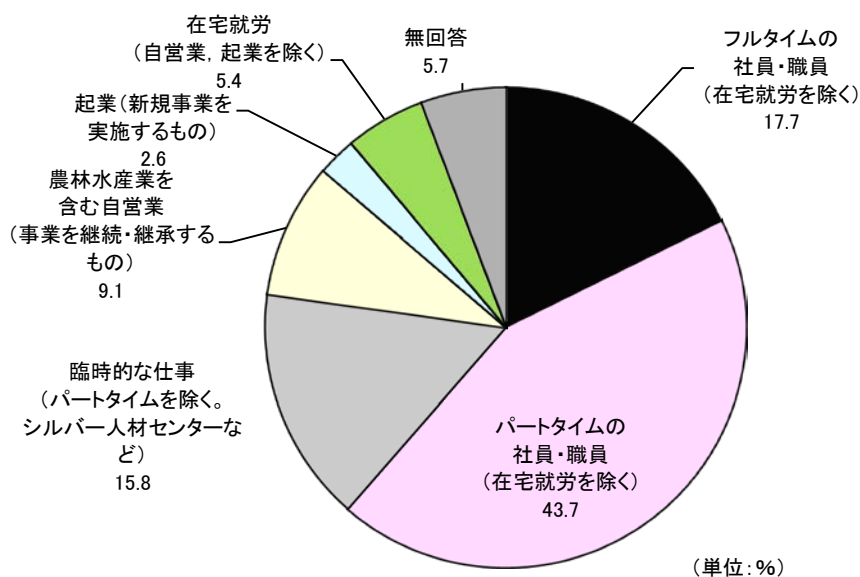
(5) 60歳以降の希望の働き方

問18 (60歳以降も就労希望のある人)あなたが、60歳以降に収入を伴う仕事に就く場合、最も希望する働き方を次の中から1つだけ選んでください。

60歳以降の希望の働き方は「パートタイムの社員・職員」が4割を超える

60歳以降の希望の働き方として、「パートタイムの社員・職員」が43.7%と最も高い。次いで「フルタイムの社員・職員」(17.7%)、「臨時的な仕事」(15.8%)となっている。

前回調査と比較して、明確な差は見られない。



	フルタイムの社員・職員 (在宅就労を除く)	パートタイムの社員・職員 (在宅就労を除く)	臨時的な仕事 (パートタイムを除く。シルバー人材センターなど)	農林水産業を含む自営業 (事業を継続・継承するもの)	起業 (新規事業を実施するもの)	在宅就労 (自営業、起業を除く)	無回答
平成29年度	17.7	43.7	15.8	9.1	2.6	5.4	5.7
平成26年度	18.5	42.7	15.1	10.0	1.4	6.7	5.6

(単位: %)

＜属性による比較＞

【生活圏別】

備北地方生活圏は「フルタイムの社員・職員」(22.4%)、「農林水産業を含む自営業」(15.5%)が他の生活圏と比べて4ポイント以上高い。「パートタイムの社員・職員」は、広島地方生活圏(44.2%)と備後地方生活圏(43.8%)で4割を占め、備北地方生活圏と比べて10ポイント以上上回っている。

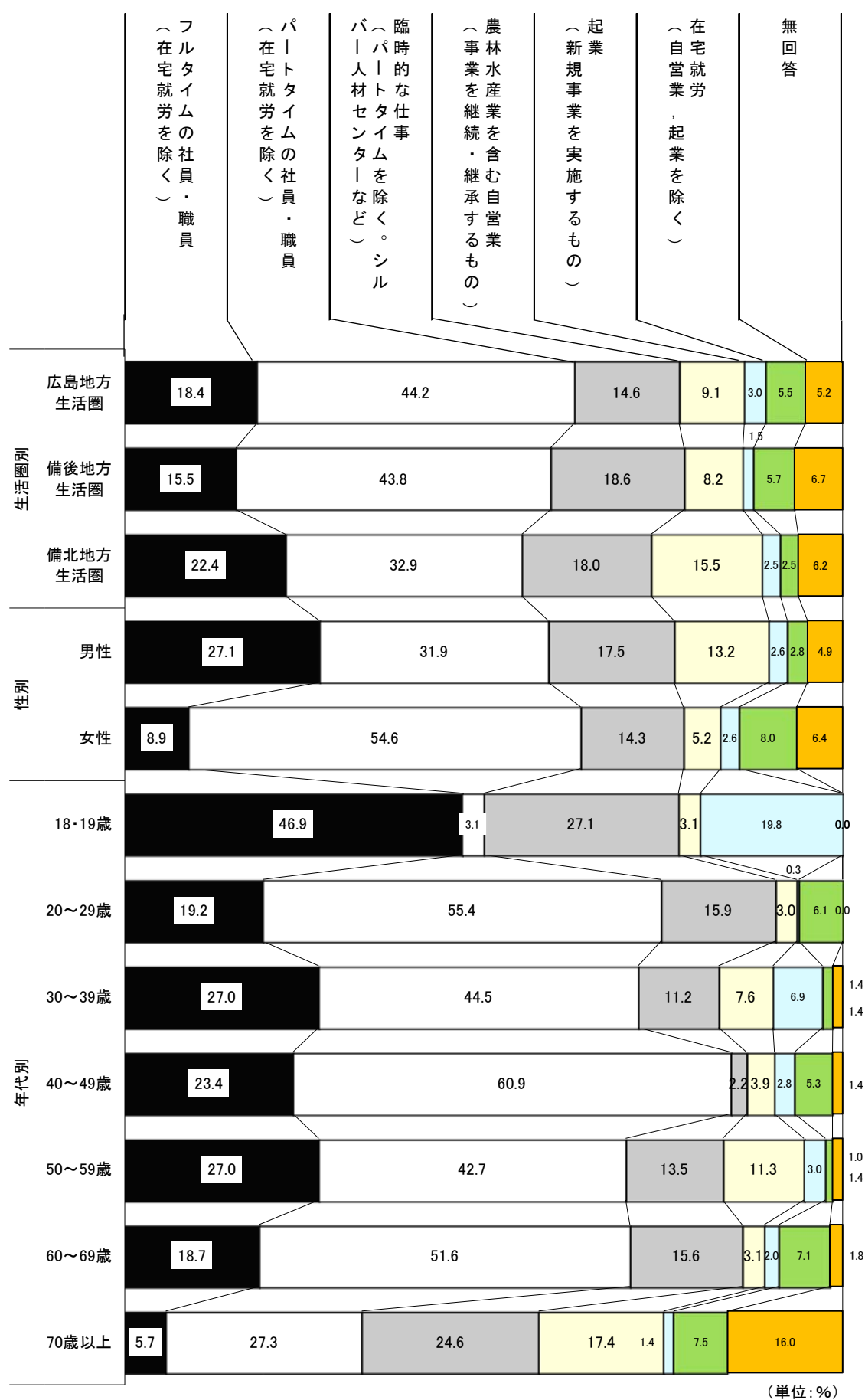
【性別】

男性は女性と比べて「フルタイムの社員・職員」(27.1%)が18.2ポイント、「農林水産業を含む自営業」(13.2%)が8.0ポイント上回っている。女性は「パートタイムの社員・職員」(54.6%)が男性と比べて22.7ポイント上回っている。

【年代別】

40歳代は「パートタイム」(60.9%)が他の年代と比べて高く、70歳以上「臨時的な仕事」(24.6%)、「農林水産業を含む自営業」(17.4%)が他の年代と比べて高くなっている。

60歳以降の希望の働き方(生活圏, 性, 年代別)



(単位: %)